

リニア中央新幹線構想 建設費に9兆円強！

1月21日、本部は中央新幹線（東京都・大阪市間）調査報告書の提出について経営協議会を開催しました。

この報告書は、地形・地質等の調査報告書と国土交通大臣から調査指示のあった4項目の調査報告書です。地形・地質等の調査報告書については、平成20年10月22日に国土交通大臣に報告書として提出しており、4項目の調査結果についても平成20年12月24日に提出していました。そういう意味では、会社は、まず国土交通大臣に報告し、その後マスコミに報道発表し、最後にやっと労働組合に説明したことになります。

報告では、地形・地質等の調査結果は路線建設は可能とし、4項目の調査結果についても、技術的にも安全対策も中央新幹線の実現に向けて障害となる問題はないと報告しています。そして建設費は、試算で9兆5千700億円（木曾谷ルート）として報告しました。

調査報告について組合から質問！

報告書の説明を受けて、鈴木委員長から何点かに渡り質問をしました。

問：会社の試算で建設は可能か？ 答：可能だ！

問：建設資金はどのように調達するのか？ 答：問題はない！

問：新幹線の輸送力は本当に限界か？ 答：具体的な回答なし！

問：開業で他の輸送機関からのシフトは？ 答：新幹線から257億人キロ

問：開業による新規需要とは何か？ 答：新たに乘ってみたいと思う人！

問：全幹法に拘る理由は何か？ 答：長大路線の法律は全幹法しかない！

問：新幹線と一元経営で黒字基調が確認できるのか？ 答：可能である！

問：H28年度までに債務が返済できるのか？ 答：1号債務の期限だ！

問：リニアの電力はどこから得るのか？ 答：電力会社の余力で賄う！

問：電磁波に問題はないのか？ 答：国際基準を大きく下回っている！

本部は、この会社の回答に対して、改めて細部に渡り申し入れを行う事を通告しました。